



子どもたちの意見を反映した今後の県政運営について（平成18年6月定例会）

無限の可能性を持っている子どもたちや若者たちの県政への関心を高めるとともに、誰もが住み良さを実感できる県づくりをするには、県内の高校生や大学生、青年会議所、青少年の健全育成をしているヤングリーダーなどから直接意見を聴く機会を設け、県の政策形成に反映させることも大切ではないかと思えます。

例えば、継続的に子どもたちや若者たちとの「意見交換会」を開催したらいかがでしょうか。山口県の未来をかたちづくる上での、必要な意見が出されると思えます。また、こうした機会を設けるに際しては、議会制民主主義に対する子どもたちの理解促進や文化施設の利用促進のために、旧県会議事堂を会場として活用していただきたいと思えます。

今後の県づくりに向けて、子どもたちや若者たちとの「意見交換会」の開催について、ご見解をお伺いいたします。

岡田総合政策局長

本県の未来を担う子どもたちや若者たちとの意見交換の場を設けることは、新たな視点から県政を推進する契機ともなりますし、また、若い世代の県政への関心を高める効果も期待できますことから、積極的に取り組むべき課題であると考えております。

お示しの、「旧県会議事堂」の活用など、さらなる創意や工夫も加えながら、子どもたちや若者たちと知事をはじめとする県幹部職員との意見交換の機会を拡充いたしますとともに、いただきましたご意見を県政各分野の施策に反映させるよう努めてまいります。